

# 日本混合研究法学会 第9回年次大会

開催日:2023年10月28日(土)・10月29日(日)  
オンライン開催

## 大会テーマ:拡張する混合研究法

### 参加者募集中

10月28日(土)

#### ★プレカンファレンス・ワークショップ1:

「MMRを使う教育学研究者のための質的研究」

香曾我部 琢(宮城教育大学)

#### ★プレカンファレンス・ワークショップ2:

「グラウンデッド・テキストマイニング・アプローチ(GTxA)」

稲葉 光行(立命館大学)

#### ★招待講演1:「混合研究法における35年間の私の経験のマッピング」

ジョン・W・クレスウェル(ミシガン大学)

#### ★MMRオープンフォーラム:

「MMR第2世代が創り出す混合研究法の新たな世界」

抱井 尚子(青山学院大学)

稲葉 光行(立命館大学)

八田 太一(静岡社会健康医学大学院大学)

#### ★学会誌:「AMMR/混合研究法」MMRセッション:

「AMMR投稿から掲載までの道:サクセスへのストーリー」

亀井 智子(聖路加国際大学)

河村 洋子(産業医科大学)

10月29日(日)

#### ★招待講演2:「APA論文執筆基準のインパクト」

能智 正博(東京大学大学院教育学研究科)

#### ★方法論教育クロストーク:

「Publication Manual of APA 7th edition に質的研究と混合研究法が記載されたことが日本の心理学教育に与えるインパクトについて」

成田慶一(京都大学医学部附属病院)

能智正博(東京大学大学院教育学研究科)

#### ★ポストカンファレンス・ワークショップ:

「質的・混合研究法～実践Q&Aワークショップ」

大竹 裕子(ロンドン大学UCL)

参加登録者は  
オンデマンドビデオを  
11月30日まで視聴可



参加登録期限  
10月27日23:59

大会長: 稲葉光行(立命館大学)

実行委員長: 成田慶一(京都大学病院)・八田太一(静岡社会健康医学大学院大学)

↑参加登録は  
こちらから

主催: 日本混合研究法学会

共催:

科研費 基盤(B)「看護研究における混合研究法教育用  
ガイドブックの開発とeラーニングの構築」  
青山学院大学混合研究法教育開発センター